

「第5回県立高校の再編整備に関する意見を聴く会」の実施結果について

1 日程・参加者等

地 域	小豆地域	三豊・観音寺地域
日 時	2月16日(火)	2月12日(金)
	18:00～19:30	18:30～20:00
会 場	土庄町立中央公民館	観音寺中央高校
	(土庄町)	(観音寺市)
参加者	30人	15人
一般傍聴者	99人	23人

2 意見(抜粋)

○小豆地域

- ・1年生の段階で自分の進路を決める総合学科は難しいのではないかと。
- ・大学進学や幅広い教育に対応でき、従来型から脱皮した新しいシステムが望ましい。
- ・競争意識を持たせることは必要である。
- ・島ならではの特色ある学科(環境や芸術、スポーツなど)を設け、全国や世界から生徒を呼び込んで欲しい。
- ・一度の会で決めてしまうのではなく、地域の意見を十分に聴いて決めるべきだ。
- ・両町が一緒になり統合校の内容を検討し、島から県教委に提案するのが望ましい。
- ・統合校の場所や統合時期が先に決まらないと議論は進まない。
- ・今後の生徒数の減少にも対応できる柔軟なシステムがよい。
- ・島外からの生徒に対応するためには、寮が必要である。

○三豊・観音寺地域

- ・1年次より専門教育を行い、これまで通りの工業科の資格取得につなげてほしい。
- ・現在の三豊工業高校の専門教育の水準を最低限確保し、資格取得に支障がないようにしてほしい。
- ・1年次の学習が、2、3年の専門教育につながるようにすることが必要である。
- ・再編に協力した学校の学級数が減ることのないようにしてほしい。
- ・再編に向けた施設設備の整備は必須である。
- ・工業科の3つの小学科を残してほしい。